

1. 科目名 (単位数)	音楽科指導法 (2単位)	3. 科目番号	SJMP2294 EDEL2315
2. 授業担当教員	中山 裕一郎		
4. 授業形態	講義、演習 (全員、個人、グループ)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「音楽」及び「音楽Ⅱ」を履修していること。		
7. 講義概要	<p>本講義では、小学校教育における音楽科の役割、目標、指導内容、児童の音楽的発達について理解し、初等教育に従事する教育者として必要な指導法の基礎を身に付ける。</p> <p>具体的には、まず学習指導要領に記載されている音楽科の目標について理解する。次に、小学校音楽科の指導内容 (表現 [歌唱・器楽・音楽作り]・鑑賞指導の意義・留意点、共通事項) について理解する。それまでの学修内容を踏まえ、学習指導計画の意義、構成、内容の取扱い、音楽科の評価について理解し、指導案作成を行う。作成した学習指導案をもとに模擬授業を実施し実践感覚を高めるとともに、その振り返りを通して授業改善の視点を身に付ける。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 初等教育における音楽科の役割、目標を理解する。 2. 初等音楽科の指導内容と指導上の留意点を理解し、それぞれの領域の指導法を身に付ける。 3. 音楽の基礎的知識・技能を身に付け、教材研究を行うことができるようになる。 4. 児童の音楽的発達段階について理解する。 5. 情報機器及び教材を音楽科の授業において効果的に活用することができるようになる。 6. 学習指導計画の意義、構成、内容の取扱い、音楽科の評価について理解する。 7. 実践的な学習指導案を作成することができるようになる。 8. 模擬授業を通して授業実践の感覚を養うとともに、その振り返りを通して授業改善の視点を身に付ける。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. グループごとに学習指導案を検討し、各自それを提出する。 2. テキストの内容をもとにしたレポート課題を提示する。 3. 共通教材の楽曲を一曲でも多く練習する。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>①初等科音楽教育研究会編『最新 初等科音楽教育法～2017年告示「小学校学習指導要領」準拠～』(音楽之友社)</p> <p>① 南曜子他編『心を育む子どもの歌』(教育芸術社)</p> <p>【楽器】</p> <p>ソプラノ・リコーダーを使用するので、準備しておくこと (パロック式またはジャーマン式いずれでもよい)。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初等教育における音楽科の役割、目標を理解している。 2. 初等音楽科の指導内容と指導上の留意点を理解し、それぞれの領域の指導法を身に付けている。 3. 音楽の基礎的知識・技能を身に付け、教材研究を行うことができる。 4. 児童の音楽的発達段階について理解している。 5. 情報機器及び教材を音楽科の授業において効果的に活用することができる。 6. 学習指導計画の意義、構成、内容の取扱い、音楽科の評価について理解している。 7. 実践的な学習指導案を作成することができる。 8. 模擬授業を通して授業実践の感覚を養い、その振り返りを通して授業改善の視点を身に付けている。 <p>○評定の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導案の内容 20% ・模擬授業の内容 30% ・授業への積極的参加度 20% ・学期末試験 30% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>教員となった時に、音楽教育の基本的な目標と目的を深く理解し、それに沿って効果的な音楽科の授業ができるよう、課題意識を持って講義や討論に臨むこと。この授業で教師の働きかけ、子どもの表現、授業の進め方などについて討論を重ねることで、多様な視点で授業を見ることができるようになることを目指すこと。また、自ら学習指導案を作成し、模擬授業を行って、また次の実践に生かしていく力を養っていくよう努力すること。</p> <p>授業を受ける上で、下記の基本的な事項は守ること。</p> <p>(1) 音楽室の使用の規則 (ピアノの扱い方、飲食厳禁等) を守りましょう。</p> <p>(2) 携帯電話の使用は禁止です。また、授業に関係のない私語はやめましょう。</p> <p>(3) 宿題やレポートは、指定した日までに提出しましょう。</p>		
13. オフィスアワー	最初の授業中に通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	音楽科の役割・目標 各学年の目標 音楽科における「主体的・対話的で深い学び」、「音楽的な見方・考え方」について	事前学習	教科書の該当部分を読んでおくこと。
		事後学習	音楽科の役割、目標について理解する。
第2回	小学校音楽科の主な指導内容について 「歌唱」指導の意義と指導上の留意点 歌唱教材 (低学年の歌唱共通教材)	事前学習	教科書の該当部分を読んでおくこと。 歌唱共通教材 (低学年) の曲を譜読みしておくこと。
		事後学習	小学校音楽科の主な指導内容について、その全体構成を把握する。歌唱共通教材 (低学年) の曲を復習し、その指導法を身に付ける。
第3回	発声法とその指導 歌唱教材 (中学年の歌唱共通教材)	事前学習	歌唱共通教材 (中学年) の曲を譜読みしておくこと。
		事後学習	歌唱指導の意義と指導上の留意点、発声法とその指導について理解する。歌唱共通教材 (中学年) の曲を復習し、その指導法を身に付ける。

第4回	児童期の音楽的発達段階について 移動ドと固定ドについて 歌唱教材（高学年の歌唱共通教材）	事前学習	教科書の該当部分を読んでおくこと。 歌唱共通教材（高学年）の曲を譜読みしておくこと。
		事後学習	児童期の音楽的発達について理解する。移動ドと固定ドについて理解する。歌唱共通教材（高学年）の曲を復習し、その指導法を身に付ける。
第5回	「器楽」指導の意義と指導上の留意点 アコースティック楽器の取扱いと指導 リコーダーの指導法（運指、奏法）	事前学習	教科書の該当部分を読んでおくこと。 リコーダーの運指を確認しておくこと。
		事後学習	器楽指導の意義と指導上の留意点、児童が扱う楽器の取扱いと指導法について理解する。リコーダーの運指や奏法を復習しておくこと。
第6回	リコーダーの指導法（合奏）、 指揮法 和楽器の指導法	事前学習	教科書の該当部分を読んでおくこと。
		事後学習	リコーダーの指導法を身に付ける。指揮法の基礎を理解する。和楽器の知識を深め、その指導法を身に付ける。
第7回	創作活動の意義と指導上の留意点	事前学習	教科書の該当部分を読んでおくこと。
		事後学習	創作活動の意義と指導上の留意点について理解する。
第8回	「鑑賞」指導の意義と指導上の留意点 鑑賞教材について（西洋音楽を中心に）	事前学習	教科書の該当部分を読んでおくこと。
		事後学習	鑑賞指導の意義と指導上の留意点について理解する。教科書に記載されている鑑賞曲について、教材研究をする。
第9回	鑑賞教材について （我が国及び諸外国の音楽を中心に）	事前学習	教科書の該当部分を読み、興味関心を持った楽曲について調べておくこと。
		事後学習	我が国及び諸外国の音楽について教材研究をする。
第10回	共通事項について 音楽科における ICT 機器及び教材活用について	事前学習	教科書の該当部分を読んでおくこと。
		事後学習	共通事項について理解する。音楽科における ICT の効果的な活用法について理解する。
第11回	学習指導計画について 内容の取扱いについて 学習指導案について	事前学習	教科書の該当部分及び、「学習指導要領 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」を読んでおくこと。
		事後学習	学習指導計画の意義、基本的な考え方について理解する。指導計画の作成において配慮すべき事項について理解する。学習指導案について理解する。
第12回	音楽科の評価について 学習指導案作成	事前学習	教科書の該当部分を読んでおくこと。題材構成について理解しておくこと。学習指導案作成にあたり各自で題材を設定するとともに、その題材に適した教材の教材研究をしておくこと。
		事後学習	音楽科の評価について理解する。学習指導案を完成させること。模擬授業に向けた準備をしておくこと。
第13回	模擬授業（歌唱指導）	事前学習	教材研究し、指導案を作成し、模擬授業の準備をしておくこと。
		事後学習	模擬授業を振り返り、反省点をまとめる。
第14回	模擬授業（器楽指導）	事前学習	教材研究し、指導案を作成し、模擬授業の準備をしておくこと。
		事後学習	模擬授業を振り返り、反省点をまとめる。
第15回	模擬授業（音楽づくり、鑑賞） まとめ	事前学習	教材研究し、指導案を作成し、模擬授業の準備をしておくこと。
		事後学習	模擬授業を振り返り、反省点をまとめる。学期末試験に向け、これまで学修した内容を総復習する。
			期末試験